



こんにちは、まるまる訪問看護ステーション湯島です。2023年4月に新たに理学療法士1名を迎えました。看護師3名・理学療法士2名体制となりましたが、今後ご利用者様や地域のお力になれるように、日々精進してまいります。

「終末期リハビリテーション」をご存じですか？

超高齢化社会や医療提供体制の変化により、最近では在宅で終末期(ターミナル)のご利用者様に関わらせて頂く機会が増えております。

その際に直面することとして、

「終末期にリハビリをする必要があるの?」「どんなことをするの?」

と聞かれることがあり、私たち療法士の力不足を感じることもあります。

結論としては、ご利用者様の「安楽・安寧の確保」と「人間らしく、その人らしく、より良く生きる」を支える為にはリハビリテーションは必要であると考えております。

「終末期リハビリテーション」ができること

不動による痛みの緩和

- 筋膜癒着に伴う動作や介助時の疼痛緩和
- 痛みのない動作方法提案

褥創の予防

- 寝返り動作能力の維持
- 筋萎縮や拘縮に伴う病的骨突出の予防

安楽な呼吸

- 体位交換による排痰
- 呼吸リハによる呼吸機能の維持、肺炎予防

清潔の保持

- 拘縮に伴う皮膚の密着による汚染や臭いの予防

尊厳のあるADLの確保

- 嚥下機能を維持し、経口摂取の機会を確保
- トイレでの排泄

より良く生きるを支える

- 全人的苦痛の緩和
- 楽しみや生きがいの模索
- 家族のニーズへの対応

リハビリテーション/re habilitationとは「**再び人間らしく生きる**」ことを意味し、終末期リハビリテーションこそ最も語源に近く、人生の最期を迎える方にとって必要とされるリハビリテーションであると言われております。

もし、終末期のご利用者様でリハビリテーションの導入についてご不明・ご不安なことがございましたら、無料相談も行っておりますのでお気軽にご相談下さい。

* まるまる訪問看護ステーション湯島では、緊急時(24時間)対応もさせて頂いており、終末期ケア・難病・呼吸器疾患・中枢性疾患など幅広く経験のあるスタッフがいます。また精神科訪問看護も実施しています。ご相談や無料相談だけでも結構ですので、お気軽にお問い合わせ頂ければ幸いです。

* 文京区以外にも、台東区・荒川区・千代田区(一部)・北区(一部)も訪問しております。

HP

〒113-0034 東京都文京区湯島4-6-12湯島ハイタウンB1417号室

まるまる訪問看護ステーション湯島

TEL:03-4431-3226

FAX:03-6625-0289

